

高梁川流域

イノベーション

地元からイノベーションは

起こらないのだろうか？

人や企業がもっと繋がれば、

きっと起こるはずだ。

イノベーションの熱気を、今年も。

LOCAL

INNOVATION

G7倉敷労働雇用大臣会合応援事業

高梁川流域 オープンイノベーション フォーラム/交流会

2023.2.23 木・祝 14:00-17:00
(交流会 17:00-18:00)

会場 倉敷市民会館ホール 入場無料



安宅 和人氏

慶應義塾大学 環境情報学部教授
Zホールディングス株式会社 シニアストラテジスト

残すに値する
未来について考える



枺野 恵也氏

Sobara株式会社
執行役員



山田 邦明氏

Seiouchi Startups Gp



富澤 由佳氏

経済産業省
新規事業創造推進室
室長補佐



柳澤 大輔氏

面白法人カヤック
代表取締役OMO

安宅和人氏



慶應義塾大学 環境情報学部教授
Zホールディングス株式会社 シニアストラテジスト

マッキンゼーを経て、2008年からヤフー。前職ではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品・事業開発、ブランド再生に関わる。2012年よりCSO、2022年よりZホールディングス シニアストラテジスト。全社横断的な戦略課題の解決、事業開発に加え、途中データ及び研究開発部門も統括。2016年より慶應義塾SFCで教え、2018年秋より現職。総合科学技術イノベーション会議(CSTI)専門委員、内閣府デジタル防災未来構想チーム座長、教育未来創造会議 委員、新AI戦略検討会議委員ほか公職多数。データサイエンティスト協会理事・スキル定義委員長。一般社団法人 残すに値する未来 代表。イェール大学脳神経科学PhD。著書に『イシューからはじめよ』(英治出版)、『シン・ニホン』(NewsPicks)ほか

基調講演

「残すに値する未来について考える」

柳澤大輔氏



面白法人カヤック 代表取締役CEO

1998年、面白法人カヤック設立。鎌倉に本社を置き、ゲームアプリや広告制作などのコンテンツを数多く発信。SDGsの自分ごと化や関係人口創出に貢献するコミュニティ通貨サービス「まちのコイン」は全国23地域で導入(2022年12月時点)。さまざまなWeb広告賞で審査員をつとめる他、サイコロを振って給与を決める「サイコロ給」など、会社という形の新しい可能性に挑戦中。著書に「鎌倉資本主義」(プレジデント社)、「リビング・シフト 面白法人カヤックが考える未来」(KADOKAWA)、「面白法人カヤック社長日記 2015年-2020年愛蔵版」ほか。まちづくりに興味のある人が集うオンラインサロン主宰。金沢大学非常勤講師、慶應義塾大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授、「デジタル田園都市国家構想実現会議」構成員。

パネルディスカッション パネリスト

山田邦明氏



Setouchi Startups GP
無花果高等学園CEO/弁護士

岡山県津山市出身。筑波大学社会学工学類、京都大学法科大学院を卒業後、スタートアップ向け法律事務所で弁護士として活動。知的財産や資金調達に関する契約業務などに従事。株式会社アカツキでは、管理部門の立ち上げ、IPO業務の担当として、上場に貢献。岡山県に帰郷後、西粟倉村と世界初の自治体ICOの取り組み、津山市と地域に起業家の生態系をつくる起業家スクール「Homing」の立ち上げ、岡山市とスタートアップ拠点「ももスタ」運営を行う。瀬戸内エリアにスタートアップの土壌を育成するため、瀬戸内エリアに特化したベンチャーファンド「Setouchi Startups」を設立。

富澤由佳氏



経済産業省 新規事業創造推進室 室長補佐

神戸生まれ、京都育ち。旅とお酒とみかんが好き。京都大学経済学部卒。金融ITコンサルタントとして勤務後、2015年よりREADYFORに参画。マーケティング・CS責任者を経て、パートナー開発チームにて自治体・大学・金融機関・新聞社との連携を推進。岡山特化クラウドファンディングサービス「晴れアレ岡山」の立ち上げ責任者。2021年5月より採用責任者に就任、2022年10月より現職。

パネルディスカッション パネリスト

柘野恵也氏



Spiber株式会社 執行役員

倉敷市在住。東京大学法学部卒業後、マッキンゼーを経て、ライフネット生命・TOOT等のスタートアップ企業へ参画。グローバル企業の経営課題解決から、中小企業の組織改革・事業開発・財務改善まで、プロ経営者として実務的な知見を有するほか、日本経済再生に向けた教育改革にも取り組む。2022年から現職。著書に『人生をはみ出す技術』(日経BP)

パネルディスカッション モデレーター

経営者、企業にお勤めの方、
学生や地域にお住まいの方など、
どなたでもご参加いただけます！

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンラインでの開催を予定しております。
※当日は取材が入ることがあります。また、会場の様子を撮影した写真や動画を、広報活動(ホームページ・SNS等)に使用する場合がございます。

高梁川流域クロッシングとは？

高梁川流域圏域*の産業振興を目的とした、企業間等の連携促進プログラムです。

※新見市・高梁市・総社市・早島町・倉敷市・矢掛町・井原市・浅口市・里庄町・笠岡市の10市町を指します。

詳しくはこちら ▶ <https://txing.jp>



オープンイノベーションとは？

自社だけでは解決できない事業課題に対して、社外と連携する事により、新しい発想や技術革新などを生み出そうとする取り組みのことです。

会場 **倉敷市民会館ホール**
(岡山県倉敷市本町17-1)

入場料 **無料** 定員 **500名** MAP▶



プログラム	13:30 受付	15:15 ブレイクタイム (休憩・交流)
	14:00 基調講演	15:55 パネルディスカッション
	15:00 クロッシング事業取組報告	17:00 交流会

メールでお申し込み ▶ forum@txing.jp

- ①ご所属(企業/団体名等)
- ②ご氏名(ふりがな)
- ③電話番号
- ④ご住所を記載のうえ、上記アドレス宛にお送りください。

Googleフォームでお申し込み▶

または、下記URLへアクセスいただき必要事項等をご記入の上、お申し込みください。



<https://forms.gle/Sc11cJ5dsRF19SNw7>

※いただいた情報は、本事業の運営に関する目的以外には使用いたしません。

- 主催：倉敷市(高梁川流域連携中枢都市圏事業)
- 本件に関するお問い合わせ先 高梁川流域クロッシング運営事務局(株式会社クラビズ内) [TEL] 086-424-8877 [メール] info@txing.jp